

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度進捗管理シート

1：目標を大幅に下回ってしまった。
2：目標をやや下回ってしまった。
3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。
5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する基本目標	最も該当する施策	関連する基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和6年度目標	令和6年度予算額	令和6年度実績	令和7年度目標	令和7年度実施予定	令和6年度決算額	令和7年度予算額	令和6年度目標達成度	備考	
1	船橋市出張美術展	文化課	I 気づき始まる	基本目標 I 気づき始まる施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	基本目標 I 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	平成29年度の船橋小学校での開催を機に、市内の公民館や学校、文化施設を会場とし、市所蔵の美術品を紹介する展覧会「船橋市出張美術展」を実施している。	平成29年度の船橋小学校、令和元年度の北部公民館、令和5年度の郷土資料館など、市内の公民館や学校、文化施設を会場に「船橋市出張美術展」として、市所蔵作品や市ゆかりの美術品を紹介。市民により身近な場所で美術鑑賞を楽しんでもらう機会をつくる。 会期：不定期 会場：公民館、学校、文化施設等	市	主催	【目標値】 アンケート回収数 70枚 【目標値算出方法】 過去の出張美術展の実績から（会期・内容を踏まえて）	1,405,585円	①令和6年度船橋市出張美術展「四季を奏でる～旧吉澤野球博物館収蔵美術品を中心に～」 【会期】令和6年6月22日(土)～7月3日(水) 【会場】郷土資料館【入場者数】1,542人【主催】文化課【アンケート回収数】169枚 ②令和6年度船橋市出張美術展「画家のメ（目・眼）、学者のメ（目・眼）－柴宮忠徳の水彩画－」 【会期】令和6年9月28日(土)～10月14日(月・祝)【会場】飛ノ台史跡公園博物館【入場者数】1,160人【主催】文化課・飛ノ台史跡公園博物館【アンケート回収数】205枚	【目標値】 アンケート回収数 100枚 【目標値算出方法】 過去の出張美術展の実績から（会期・内容を踏まえて）	①令和7年度「mini出張美術展～技法でたのしむ作品鑑賞～」 【会期】令和7年6月7日(土)～6月15日(日)【会場】郷土資料館【入場者数】1,542人【主催】文化課・郷土資料館	決算額 1,149,656円 内報償金（関連イベント 演奏謝礼、ワークショップ講師謝礼）58,705円 内消耗品費（関連イベント）44,522円 内印刷製本費（チラシ・ポスター・看板代）274,450円 内委託料（輸送・展示委託、デザイン委託）769,800円 内その他使用料及び賃借料（著作権料）2,179円	0円		4	
2	文化イベント情報紙「BUNBUN Funabashi.」	文化課及び各文化施設	I 気づき始まる	基本目標 I 気づき始まる施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策② 文化・芸術の本質を尊重しつつ、時代の要請に対応した事業の展開	文化振興基本方針で掲げている重点プロジェクトの一環として、市内の文化施設がそれぞれ発信していた情報をまとめ、よりわかりやすい情報紙を作成する。	市内の各文化施設が発信していた情報をひとつにまとめたWeb版フリーペーパー「BUNBUN Funabashi.」を年6回発行する。	市	主催	ホームページ閲覧件数 【月500件】	0円	【決算額 0円】 【指標値実績 24,323件】 3カ月に1度のペースで発行。市内文化施設に若干数紙媒体で配布。ホームページアクセス数は減ったが、デザインを変えたことで配架枚数が増加し、各施設の残部数は毎回ほぼ無くなった。	ホームページ閲覧件数 【月500件】	3カ月に1度のペースで発行。市内文化施設に若干数紙媒体で配布。さらに読みやすくするため、イベントをまとめたカレンダーページと各施設からピックアップしたイベントを掲載する形式に変更。	0円	0円		3	
3	地域の生涯学習情報の収集と発信	社会教育課	I 気づき始まる	基本目標 I 気づき始まる施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	基本目標 I 気づき始まる施策② 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	船橋市等が行っている、市民を対象とした生涯学習機会の情報を知る手だてがなかった為、平成11年度以来、社会教育課でとりまとめ1冊の冊子にまとめている。	行政が実施する生涯学習事業を積極的に収集し、発信していきます。	市	主催	生涯学習ガイドブック「楽しく学ぼうふなばし」に掲載する事業数の増加	0円	【掲載事業】 1,211事業	生涯学習ガイドブック「楽しく学ぼうふなばし」に掲載する事業数の増加	令和6年度に引き続き、生涯学習事業の収集を行い、冊子にまとめる。	0円	0円		2	
4	ふなばしロケーションズ「ふなロケ」	商工振興課	I 気づき始まる	基本目標 I 気づき始まる施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	基本目標Ⅳ 活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	これまで各施設が行ってきた撮影対応を広報課に一元化して平成27年5月に事業開始し、同時にWEBサイトを設置した。令和3年度から、『ロケーションガイド ふなばし撮おらんせ』から、『ふなばしロケーションズ「ふなロケ」』に事業名を変更した。	船橋市内にある様々な魅力的なロケーションを活用し、テレビドラマや映画等の撮影に提供することで、シビックプライドを醸成するとともに、施設を有効活用し、当該施設に関わる市職員や市民のモチベーションを高めることを目的とする。	商工振興課	市	【目標値】 撮影支援実績40件	予算額 225,280円	撮影支援実績：38件 TBS『クジャクのダンス、誰が見た?』、日本テレビ『マル秘の密子さん』などの撮影支援を行った。ほかにも、撮影支援した作品のロケ風景や出演者のサイン色紙を展示する企画展を市内11か所で開催した。	【目標値】 撮影支援実績40件	企画展開催場所：14か所	決算額 225,280円	160,930円		3	
5	魅力発信サイト FUNABASHI Style	広報課	I 気づき始まる	基本目標 I 気づき始まる施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	基本目標 I 気づき始まる施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	平成28年3月のホームページ再構築に伴い、既存の市ホームページに混在していた、船橋の魅力在市内外に発信するコンテンツのみを独立させ、新ホームページを設置した。	「食べる」「見る」「遊ぶ」等の船橋の魅力を市内外に発信する。	市	主催	【指標値】 市の情報をホームページで入手している人の割合(市民意識調査) 24.0% 【根拠】R5度実績値	予算額 0円	市民意識調査「市の情報をホームページで入手している人の割合」 22.7% 市出身の有名人「オタクダンサー・龍さん」や「イラストレーター・山田タクヒロさん」、「ふなばし市民まつり」などのイベントといった船橋の魅力・シビックプライド醸成につながる記事を作成し、公開した。	【指標値】 市の情報をホームページで入手している人の割合(市民意識調査) 22.7% 【根拠】R6度実績値	市出身・ゆかりの有名人・スポーツ選手の紹介、ふなばしアンデルセン公園等既存ページのアップデートなど、船橋の魅力等を発信するページを作成し公開する。	決算額 0円	予算額 0円		2	
6	地域ふれあいコンサート	文化課	I 気づき始まる	基本目標 I 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	平成6年に船橋市総合体育館の開館記念事業として、市内の音楽団体を中心となって実施した「千人の音楽祭」を契機に、平成7年度から「ふなばし音楽フェスティバル」の一事業として開始。従来より、各公民館で行われていた演奏会を、地域ふれあいコンサートに位置付けたほか、長年の取組みの中で、地域の中で新たに実行委員会を組織し、会場数を拡大してきた。	地域住民で組織された実行委員が、市民に最も身近な施設である公民館等を会場に、気軽に音楽の生演奏を楽しむようコンサートを開催します。船橋ゆかりや若手の音楽家たちの演奏機会の創出するとともに、プロの演奏家による上質な音楽の鑑賞機会を市民に提供することで、音楽文化のすそ野を広げます。 開催時期：1月下旬～3月上旬 会場：市内公民館等	実行委員会	主催	【目標値】 入場者数1,900人 【目標値算出方法】 開催館の定員数合計×80%	市交付金 1,120,000円	市内公民館等開催館 14会場 出演者 38名と1団体 入場者数 2,251名	【目標値】 入場者数2,000人 【目標値算出方法】 前年度の入場者数と開催予定館数から算出	市内公民館等開催館 15会場	決算額 1,618,086円 内市交付金 1,066,641円 内その他（チケット収益・公民館事業費等） 551,445円	市交付金 1,200,000円		4	
7	船橋市所蔵作品展	文化課	I 気づき始まる	基本目標 I 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標 I 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	平成13（2001）年に「清川記念館収蔵展」を開催して以来、平成19（2007）年までに4回、平成21（2009）年に「船橋市所蔵作品展」と改めてからは毎年市所蔵美術品を紹介している。その中で、平成27年度に（財）吉澤野球博物館から野球資料と共に美術品が寄贈されたことから、教育委員会主催事業として、市民ギャラリーで開催している所蔵作品展を開催している。	市が所蔵する美術品を活用し、市民が身近な場所で美術鑑賞をできるよう、企画展を開催する。また、展覧会の関連事業として、市民対象の美術講座や公開フォーラムなどを行い、所蔵品や船橋の文化状況に対する理解を促す機会とする。 開催時期：12月 会場：船橋市民ギャラリー	市／（公財）船橋市公園協会	主催	【目標値】 入場者数1,500人 【目標値の算出方法】 過去の所蔵作品展の実績から（会期・内容を踏まえて）	1,836,800円 市予算 588,800円 指定管理 1,248,000円	「令和6年度 アレも、コレも、船橋市所蔵作品展 -ふなばしアートカードになりました-」 【会期】令和6年12月4日（水）～15日（日）12日間【会場】船橋市民ギャラリー(第1～3展示室、第1ホール)【入場者数】1,179人	【目標値】 入場者数2,000人 【目標値の算出方法】 過去の所蔵作品展の実績から（会期・内容を踏まえて）	令和7年度船橋市所蔵作品展「玉川旅館の記憶」 【会期】令和7年12月3日（水）～21日（日）19日間【会場】船橋市民ギャラリー(全館)	1,327,935円 市決算 185,680円 指定管理 1,142,255円	6,202,100円 市予算 4,888,100円 指定管理 1,314,000円		2	
8	船橋市文化活動普及事業	文化課	I 気づき始まる	基本目標 I 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標Ⅲ 育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	平成27年度に吉澤野球博物館より文化の発展のためにと寄付された現金預金を原資とする船橋市文化振興基金を設置。基金の運用益と市予算と併せて子どもたちが身近な場所で質の高い文化・芸術の鑑賞・体験機会を提供することを目的として平成28年度から開始。事業実施にあたり、アーティスト及び専門家を事前に公募し、書類審査と専門家による意見を参考に派遣講師名簿である「アーティストバンク」に登録し、学校からのオファーに基づき事業を実施する。	子供たちが身近な場所で文化活動に触れる機会を提供し、豊かな心や創造性を育む。 事業対象：市内の市立小・中・高等学校及び特別支援学校 開催数：年10校程度	市／（公財）船橋市公園協会	主催	【目標値】 実施校数20校	6,024,000円 市予算 4,533,000円 文化振興基金 1,491,000円	実施校：小学校15校、中学校4校、特別支援学校1校 事業実施者：13組 実施ジャンル：音楽15回、舞踏1回、書4回	【目標値】 実施校数20校	実施校：小学校15校、中学校5校 事業実施者：13組 実施ジャンル：音楽16回、舞踏2回、書1回、伝統芸能1回	決算額 5,332,000円 内文化活動普及事業者報償金 800,000円 内アーティスト選定・コーディネート業務委託 4,532,000円	6,322,000円 市予算 4,798,000円 文化振興基金 1,524,000円		3	

第 2 次船橋市文化振興基本方針 令和 7 年度進捗管理シート

1：目標を大幅に下回ってしまった。
2：目標をやや下回ってしまった。
3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。
5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する 基本目標	最も該当する 施策	関連する 基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和6年度目標	令和6年度予算額	令和6年度実績	令和7年度目標	令和7年度実施予定	令和6年度決算額	令和7年度予算額	令和6年度 目標達成度	備考
9	ロビーコンサート	文化課	I 気づき始まる	基本目標Ⅰ 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	平成5年3月、船橋吹奏楽団の木管五重奏が全日本アンサンブルコンテスト（社団法人全日本吹奏楽連盟主催）で金賞を受賞し,市役所ロビー（現在の美術コーナー）で記念コンサートを開催したことがきっかけとなり、同年7月から始まった。 100回記念となった平成14年12月には、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のコンサートマスター本庄篤子さんを迎え、ピアノ三重奏曲を演奏していただいた。平成19年6月には150回を迎え、平成24年1月には第200回、平成28年7月に第250回を実施した。	昼の憩いのひとときに、市民及び市職員にさわやかな音楽と安らぎを提供するとともに、音楽の生演奏に触れることによって音楽文化に関心を持ってもらう機会とするため、月に1回（8月を除く）、市役所1階ロビーで質の高い音楽の演奏会を実施します。	市	主催	アンケートの満足度 【90%以上】	368,855円	開催日：毎月第3水曜日（8月を除く） 開催回数：11回 出演者数：11組 18人 観覧者数：1,030人 アンケート満足度 98.8% 特記事項：	アンケートの満足度 【90%以上】	開催日：毎月第3水曜日（8月を除く） 開催回数：11回	決算額 368,855円 内出演者謝礼 183,755円 内選考委員謝礼 30,000円 内ピアノ保守点検・調律費用 155,100円	368,855円	4	
10	市民ギャラリー・茶華道センター主催事業	文化課 【指定管理者： （公財）船橋市公園協会】	I 気づき始まる	基本目標Ⅰ 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	市民の文化芸術に対する理解を深め、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことを目的として開催する。また、普段茶華道センターに来る機会のない人にも、茶華道センターに立ち寄ってほしいと企画した。	各種教室事業の実施 （華道の世界・茶道の世界・子供茶道教室・囲碁入門子供教室・日本舞踊子供教室・外国人対象日本伝統文化体験教室・カジュアル茶道・書道教室） ①華道の世界は、初心者から経験者までを対象として、四季折々の花材を使いながら華道の基礎から応用までの技術の習得を目指す。 ②茶道の世界は各流派の立ち居振る舞いや茶の点て方など実践的な作法の習得を目指す。 ③囲碁入門教室は、囲碁未経験者を対象に、囲碁の楽しさを教える。 ④日本舞踊子供教室は、小中学生を対象に礼儀作法から始まり古典音楽に合わせて手足の動作などを実践的な技術の習得を目指す。 ⑤子供茶道教室（ハッピーサタデー事業）は、小中学生を対象に、楽しいお稽古から日本文化の素晴らしさ・大切さを学び、また礼儀作法についても習得させることを目的とする。 ⑥日本伝統文化体験教室は、外国人を対象に、日本の伝統文化である茶道や華道に親しむと共に、茶道・華道の基本的な知識を学び、初歩的な所作や技能を身につける。 ⑦茶室開放日は、茶室を無料開放し、茶室見学、茶会体験を行った。 ⑧カジュアル茶道は、より身近に茶道の所作に親しみ、本格的な茶道への入門となることを目指す。 ⑨書道教室は、小学生対象に書道の伝統と技術を学ぶことを目指す。 ⑩スクエア寄席は日本伝統芸能である寄席を楽しむ。	指定管理者	指定管理事業、自主事業	【目標値】 入場者数3300人 【目標値算出方法】 昨年度実績人数	【予算額】 5,087,000円】	①～⑨ 【目標値実績 4,000人】 ①令和6年4月から令和6年9月まで、令和6年10月から令和7年2月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数657名 ②令和6年4月から令和6年9月まで、令和6年10月から令和7年3月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数1671名 ③令和6年8月3回開催。参加者数35名 ④令和6年6月～12月までの土曜日 全10回。参加者数55名 ⑤令和6年6月～令和7年3月までの第3土曜日 全10回。参加者数491名 ⑥令和6年1月～2月まで3回開催 参加者数22人 ⑦令和6年4月～令和7年2月の1月を除く毎月第2金曜日 全11回開催 参加者数533名 ⑧令和6年5月～令和7年2月までの月曜日 全10回。参加者数127名 ⑨令和6年4月～令和7年3月までの土曜日 全24回。参加者数289名 ⑩第1回令和6年8月30日（金）参加者数60名 出演者 真打 橘屋圓十郎 第2回令和7年3月7日（木）参加者数60名 出演者 真打 柳家小傳次	【目標値】 入場者数4,000人 【目標値算出方法】 令和6年度実績より算出	茶華道センター各種教室	【決算額 5,363,820円】	【予算額 5,127,000円】	3	
12	市民文化ホール主催事業	市民文化ホール	I 気づき始まる	基本目標Ⅰ 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	市民文化ホールは、市民が優れた文化芸術を享受できる機会を提供することを経営方針としており、開館時よりさまざまなジャンルの質の高い公演の開催に努めている。 また、例年事業テーマを選定し、多彩な事業と併せて年度ごとに特色のある事業も展開している。	様々なジャンルの質の高い公演を実施するとともに、市民がアーティストと直接共演する場や学ぶ機会を提供する。	市	主催・共催	【目標値】 入場者数11,200名 【目標値算出方法】 市民文化ホール定員（1,000名）×70%×公演数	予算額 文化芸術ホール事業基金繰出金 5,500,000円	公演 16本（主催事業6本、共催事業10本） 入場者数 10,251人	【目標値】 入場者数 6,300名 【目標値算出方法】 市民文化ホール定員（1,000名）×70%×公演数	公演 9本（主催事業3本、共催事業6本） ※大規模改修による休館のため、事業数減	有料公演に係るもの（文化芸術ホール事業基金） 決算額 20,056,060円 内助成金 500,000円 内その他（入場料等収入） 19,827,413円 内文化芸術ホール事業基金繰出金 0円 円（市予算）※余剰金 271,353円 文化創造館へ補填	予算額（市予算） 文化芸術ホール事業基金繰出金 3,000,000円	2	
13	市民文化創造館（きららホール）主催事業	市民文化創造館（きららホール）	I 気づき始まる	基本目標Ⅰ 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	市民文化創造館は、市民が優れた文化芸術を享受できる機会を提供することを経営方針としており、開館時よりさまざまなジャンルの質の高い公演の開催に努めている。 また、例年事業テーマを選定し、多彩な事業と併せて年度ごとに特色のある事業も展開している。	様々なジャンルの質の高い公演を実施するとともに、市民がアーティストと直接共演する場や学ぶ機会を提供する。	市	主催・共催	【目標値】有料公演入場者数 1,663名、無料公演等入場者数 1,955名 【目標値算出方法】 市民文化創造館定員（264名）×70%×公演数 ※ただし無料公演は250名、ワークショップは募集人数が少ないため、目標値を30名とする。	予算額 有料公演に係るもの 文化芸術ホール事業基金繰出金 700,000円 無料公演等に係るもの 報償費 1,800,000円	有料公演 8本【主催事業8本（内、2回公演×1本）】 有料公演入場者数 1,631名 無料公演等 12本（ちよっとよりみちライブ（特別公演含む）11本、ワークショップ1本） 無料公演入場者数 2,019名（内、ワークショップ参加者10名 観客27名）	【目標値】 有料公演入場者数 1,478名 無料公演等入場者数 1,955名 【目標値算出方法】 市民文化創造館定員（264名）×70%×公演数 ※ただし無料公演は250名、ワークショップは募集人数が少ないため、参加者。鑑賞者含めて30名とする。	有料公演 8本【主催事業8本（内、2回公演×1本）】 無料公演等 12本（ちよっとよりみちライブ（特別公演含む）11本、ワークショップ1本）	有料公演に係るもの（文化芸術ホール事業基金） 決算額 4,830,730円 内助成金等 956,000円 内その他（入場料等収入） 4,469,537円 円 内271,353円は文化ホール余剰金から補填 内文化芸術ホール事業基金繰出金(市予算) 89,840円 無料公演等に係るもの（市予算） 決算額 1,745,000円	予算額（市予算） 有料公演に係るもの 文化芸術ホール事業基金繰出金 1,000,000円 無料公演等に係るもの 1,800,000円	3	

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度進捗管理シート

1：目標を大幅に下回ってしまった。
2：目標をやや下回ってしまった。
3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。
5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する基本目標	最も該当する施策	関連する基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和6年度目標	令和6年度予算額	令和6年度実績	令和7年度目標	令和7年度実施予定	令和6年度決算額	令和7年度予算額	令和6年度目標達成度	備考
14	ふなばし市民活動フェア	市民協働課	I 気づき始まる	基本目標Ⅰ 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標Ⅲ 育みつながる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	市民活動団体が日々の活動内容を紹介することにより、これからボランティア活動を始めたい人が、市内の市民活動団体について知ることができるきっかけを提供するイベントとして、平成20年度より開催している。	地域へ第一歩を踏み出そうとする方々などに対して、市民活動やボランティア活動など様々な社会貢献活動に参画するきっかけの場を提供するためのイベントを実施している。	実行委員会	共催	【目標値】 入場者数 700人	651,660円	参加団体数 72団体 来場者数 560名 企業連携 市内6企業	【目標値】 入場者数 1000人	会場 イオンモール船橋	417,010円	662,000円	2	
15	船橋市バーチャル美術館	文化課	I 気づき始まる	基本目標Ⅰ 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標Ⅰ 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	令和2年度、新型コロナウイルス感染症が流行し、「新しい生活様式」下で、市民が自宅にいながら文化・芸術体験ができる機会を提供するため、展覧会場を360度カメラで撮影した映像などを掲載した市の美術専用サイト「バーチャル美術館」を開設した。	令和2年度市所蔵作品展「樫貞雄と清川コレクション」の展覧会場を360度カメラで撮影し、音声ガイドや船橋市デジタルミュージアムと連携させた作品の高精細画像を搭載した「バーチャル展示室」をはじめ、市収蔵作家の紹介動画や展覧会情報など市の美術作品や活動に関する情報をインターネット上で公開し、コンテンツの充実を図っている。	市	主催	【目標値】 年間アクセス数 3,700回	264,000円	【指標値実績】 4,488回	【目標値】 年間アクセス数 4,500回		決算額 264,000円 内使用料及び賃借料（サーバ利用料）264,000円	264,000円	4	
16	食育推進事業	地域保健課	I 気づき始まる	基本目標Ⅰ 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標Ⅰ 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	食育推進事業の一環である食文化の継承、食に関する知識の啓発を目的として令和2年度1月より市ホームページ「ふなばしの食育」内で公開開始。 令和4年度3月分より郷土資料館との連携によるデジタルサイネージでの掲示、カレンダーの配布を行っている。	食育推進事業は、乳幼児から成人、高齢者に至るまで食に対する関心と理解を深め、一人ひとりが自分自身で健康を守り、食の大切さを知ることを中心に啓発を行う事業である。行事食カレンダーは食育推進事業の一環として、各月の行事を記載したカレンダーとともに、ひなまつり、端午の節句、十五夜といった日本の伝統的な行事及び行事食について紹介し、食文化の継承や、食に関する知識の啓蒙、啓発を図っている。	市	主催	【目標値】 ホームページ閲覧件数 年3500件 【目標値算出方法】 過去の実績及び現在の指標を参考に算出	予算額 0円	【実績】ホームページ閲覧数 3,268件 行事食カレンダーを市ホームページ「ふなばしの食育」内で公開、郷土資料館との連携によるデジタルサイネージ掲示、カレンダーの配布を行った。 さらに、6月に実施した食育展では年間の行事食をパネル展示で紹介し、啓発を行った。	【目標値】 ホームページ閲覧件数 年3,500件 【目標値算出方法】 過去の実績及び現在の指標を参考に算出	引き続き、行事食カレンダーを市ホームページ「ふなばしの食育」内で公開、併せてX、Facebookでの周知を行う。また、郷土資料館との連携によるデジタルサイネージ掲示、カレンダーの配布を行う。 食育展で年間の行事食をパネル展示で紹介し、啓発を行う。	決算額 0円	予算額 0円	2	
17	船橋市文学賞/文学講座	文化課	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅲ 育みつながる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	市民の日常的な文学活動の活性化を通して、豊かな市民生活の創造に資することを目的とし、昭和63年に創設。	船橋市における文芸活動の振興を図るため、小説・児童文学・詩・短歌・俳句の各部門の作品を公募し、特に優れた作品を選奨（文学賞、佳作を選考）する。 また、授賞式と懇談会を開催して選者と受賞者の交流の場を設けており、文学賞、佳作を受賞した作品は、「船橋市文学賞作品集」として編纂し、有償頒布している。 船橋市文学賞選者により、一部門ごとに毎年度、講座（講習）を実施し、船橋市文学賞への募集への一助としている。	市	主催	【目標値】 応募者数140人 【目標値算出方法】 直近3年間の平均値	2,838,000円	【文学賞】 応募者数135人（内訳） 小説34、児童文学29、詩38、短歌14、俳句20 【文学講座】 小説部門の講座を開催。40名が参加した。	【目標値】 応募者数140人 【目標値算出方法】 直近3年間の平均値	【文学賞】 小説・児童文学・詩・短歌・俳句部門の作品を募集。 【文学講座】 児童文学部門の講座を開催。	決算額 2,757,839円 内報償費（選者謝礼、賞賜金）2,290,000円 内需用費（作品集の印刷製本費等）462,839円 内その他 5,000円	2,780,000円	3	
18	各種芸術文化事業の主催及び共催【三曲祭】	文化課	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅲ 育みつながる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	昭和53年箏・三絃・尺八の愛好家により、邦楽の普及を目的として船橋市三曲協会が結成され、以後毎年三曲祭を開催している。（平成29年度第40回） また、共催事業として、伝統文化を身近に感じてもらうため公民館にて箏・三絃・尺八による芸術劇場を実施。	伝統的な邦楽器として最も一般的な楽器である箏・三絃（三味線）・尺八からなる三曲を市民が鑑賞し親しんでもらうとともに、愛好者に発表の場を設けることで芸術文化の振興に寄与する。	市・三曲協会	主催	【目標値】 入場者数400名 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したもの	102,740円	開催日時 令和6年6月9日（日曜日） 1時30分開演（1時開場）～17時 会場 船橋市民文化ホール 出演者 約140名 来場者数 約400名	【目標値】 入場者数400名 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したもの	開催日時 令和7年6月8日（日曜日）1時30分開演（1時開場）～16時40分頃 会場 船橋市民文化ホール	決算額 102,740円 内印刷製本費（プログラム・ポスターの印刷）102,740円	124,960円	3	
19	各種芸術文化事業の主催及び共催【日舞祭】	文化課	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅲ 育みつながる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	昭和38年に日本舞踊各流派からなる船橋市日本舞踊連盟が設立され、市と両主催により毎年「船橋市日舞祭」を実施している。	日本伝統文化である日本舞踊の発表の場を設けることにより、団体の活動支援及び育成を図るとともに、日本舞踊の継承及び芸術文化の振興を図る。 開催時期：7月上旬 会場：船橋市民文化ホール 主催：船橋市日本舞踊連盟・船橋市教育委員会	市・日本舞踊連盟	主催	【目標値】 入場者数360名 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したもの	57,200円	開催日時 令和6年7月7日（日曜日） 12時開演（11時30分開場）～19時10分 会場 船橋市民文化ホール 出演者 約100名 来場者数 約500名	【目標値】 入場者数500名 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したもの	開催日時 令和7年7月6日（日曜日）12時開演（11時30分開場）～19時15分終演予定 会場 船橋市民文化ホール	決算額 57,200円 内印刷製本費（プログラムの印刷）57,200円	61,600円	3	
20	各種芸術文化事業の主催及び共催【合唱祭】	文化課	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅲ 育みつながる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	昭和30年に中央公民館（S30.11.1開館）の落成記念として開催され、前身となる連絡協議会が設立された。その後昭和59年（創立30周年）に「船橋市合唱連盟」となる。以降年1回教育委員会主催により連盟加盟団体だけでなく小中学校合唱部などを招待し、出演してもらうなど交流を図っている。	広く市民に合唱の楽しさを紹介し、音楽活動振興の一助とすると共に合唱団体相互の交流を図る。 開催時期：12月上旬 会場：船橋市民文化ホール 主催：船橋市合唱連盟・船橋市教育委員会	市・合唱連盟	主催	【目標値】 入場者数350名 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したもの	233,020円	開催日時 令和6年11月30日（土曜日） 第1部 13時30分開演～16時20分終演 令和6年12月1日（日曜日） 第2部 10時30分開演～13時00分終演 第3部 14時00分開演～16時45分終演 会場 船橋市民文化ホール 出演者 約800名 来場者数 約408名	【目標値】 入場者数410名 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したもの	開催日時 令和7年11月30日（日曜日） 第1部 10時10分開演～13時00分 第2部 14時00分～17時40分 会場 船橋市民文化ホール	決算額 233,020円 内印刷製本費（プログラム・ポスターの印刷）97,020円 内看板製作費 66,000円	228,500円	4	
21	ふなばし市民大学校	社会教育課	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	平成16年4月、老人大学、スポーツ健康大学、ボランティア大学、生涯学習コーディネーター養成講座を統合し、ふなばし市民大学校として新たにスタートした。	まちづくり学部はまちや地域に関心を持ち、自分に合ったボランティア活動につながる知識や技術の習得を目指します。いきいき学部は授業やクラス会活動とおして、知識を共有した仲間との関係づくりを行います。短期で行う特別講座では人生100年時代を想定して自らの人生設計を積極的に考え、生涯をととして知識と時代の変化に応じたスキルを獲得することができるようなきっかけづくりとなる内容を提供します。	市	主催	翌年度のふなばし市民大学校応募倍率120%	43,914,000円	まちづくり学部 定員120名 応募者数112名 応募倍率93% いきいき学部 定員294名 応募者数298名 応募倍率101% 計 定員414名 応募者数410名 応募倍率99%	翌年度のふなばし市民大学校応募倍率120%	令和7年度ふなばし市民大学校 まちづくり学部、いきいき学部及び特別講座を実施	43,536,914円	48,020,000円	2	

第 2 次船橋市文化振興基本方針 令和 7 年度進捗管理シート

1：目標を大幅に下回ってしまった。
2：目標をやや下回ってしまった。
3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。
5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する 基本目標	最も該当する 施策	関連する 基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和6年度目標	令和6年度予算額	令和6年度実績	令和7年度目標	令和7年度実施予定	令和6年度決算額	令和7年度予算額	令和6年度 目標達成度	備考
22	ふなばし市民まつり	商工振興課	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅰ 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	昭和43年度より、産業まつりを「市内の商業、工業、農業の優秀な生産品と観光の現況を広く市民に紹介し市民の協力と理解を得ながら実施されていくものであり、これらの産業の躍進ぶりを広く紹介し、商品販路を広げ産業の振興を図り、併せて市民生活を向上させていくもの」として開催するようになった。平成15年度より名称を「市民まつり」として市民主体を目指し、開催されている。	「さまざまな産業がいきているまち・ふなばし」で学び、働き、暮らす人たちが力を合わせ、皆で『まつり』をつくり、参加することにより「活気とにぎわいのあふれるふるさと・ふなばし」を実現するため、ふなばし市民まつりを開催する。	ふなばし市民まつり実行委員会	実施6団体のうちの1団体（商工振興課が事務局を務める）	【目標値】来場者数 636,000人 【目標値算出方法】令和元年度と同等の数値	市負担金 42,500,000円	総来場者数：693,138人 開催日：令和6年9月28～29日 ①めいど・いん・ふなばし（9/28、29） ②ジョイ&ショッピングフェア（9/28） ③ふれあいまつり（9/29）	【目標値】総来場者数：700,000人 【目標値算出方法】令和6年度と同等の数値	開催日：令和7年9月27～28日 ①めいど・いん・ふなばし（9/27,28） ②ジョイ&ショッピングフェア（9/27） ③ふれあいまつり（9/28） ※花火大会は検討中	決算額 26,044,139円	28,049,714円	3	令和6年度花火大会中止により令和5年度と比較して、決算額が大幅に減少した。
23	ふなばし三番瀬クリーンアップ	環境政策課	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	三番瀬の清掃と自然観察会等を市民・事業者・市民団体・行政とが協働して行うことにより、三番瀬に対する関心と理解を深め、もって三番瀬の保全を図る事を目的として平成13年より開催している。	市民・市民団体・事業者・行政が協働により、毎年10月中旬～下旬に、ふなばし三番瀬海浜公園前の砂浜の清掃活動を行う。また、日本大学生産工学部によるマイクロプラスチック調査や、小学生を対象に募集した絵画の展示、参加団体が企画するイベントも併せて実施している。	実行委員会	後援	【目標値】参加者数850人 【目標値算出方法】令和12年度目標値1,000人に対する段階的目標（第3次船橋市環境基本計画）	市交付金 200,000円	参加者数 980名	【目標値】参加者数1,000人 【目標値算出方法】前年度の参加者数から算出	開催日：令和7年10月18日（土）（予定） 場 所：ふなばし三番瀬海浜公園前砂浜	決算額 259,555円 内市交付金 200,000円 内その他（協賛金等） 59,555円	市交付金 200,000円	4	
24	ふなばし環境フェア	環境政策課	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	市民、事業者及び行政それぞれが、環境意識を高め、健全で恵み豊かな環境の実現を目指すことを目的として平成10年より開催している。	市民・市民団体・事業者・行政が協働により、毎年6月に、ふなばし三番瀬海浜公園・環境学習館において、出展団体が環境に関する活動内容をパネルで紹介したり、工作・体験コーナーを通して参加者に環境への関心を深めるための環境啓発を行っている。	実行委員会	後援	【目標値】参加者数2,600人 【目標値算出方法】令和12年度目標値3,000人に対する段階的目標（第3次船橋市環境基本計画）	市交付金 400,000円	参加者数 約3,000人	【目標値】参加者数3,100人 【目標値算出方法】前年度の参加者数から算出	開催日：令和7年6月14日（土）（予定） 場 所：ふなばし三番瀬海浜公園・環境学習館	決算額 648,062円 内市交付金 400,000円 内その他（協賛金等） 248,062円	市交付金 400,000円	4	
25	セミのぬけがら調査	環境政策課	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	夏の代表的な昆虫であるセミのぬけがらを調べることにより、身近な自然への関心を深め、自然環境保全思想の醸成を図ることを目的に、平成16年度から実施している。	下記の調査場所での調査を行う。セミのぬけがらの集め方、分類方法を実際に行いながら学び、最後に標本を作成する。 【調査場所】 ①運動公園 ②アンデルセン公園 ③行田公園	船橋市環境政策課	主催	【目標値】参加人数80人 【目標値算出方法】夏休みセミのぬけがら調査募集人数により設定	予算額 141,510円（報償費）講師謝礼金 89,750円（役務費）傷害保険料 9,300円（使用料及び賃借料）駐車場利用料金 4,000円、会議室利用料金 2,580円（消耗品費） 35,880円	【実施結果】 調査場所 3会場（運動公園、アンデルセン公園、行田公園） 参加人数69人（参考）申込人数247人、当選82人、当日キャンセル等あり 特記事項：開催回数について、夏の暑さが更に厳しくなり、4会場開催では、講師（市民等）・職員の健康上の問題もあり、ひいては安全なイベント参加環境を確保できなくなる恐れがあるため、令和5年度に引き続き3会場で行った。 広報については、例年実施している市の広報の他、「ちいき新聞」1面に事業の紹介記事が掲載されたことで、申込人数が急増した。	【目標値】参加人数80人 【目標値算出方法】夏休みセミのぬけがら調査募集人数により設定	調査場所 3会場（運動公園、アンデルセン公園、行田公園） 特記事項：開催回数について、厳しくなる夏の暑さの観点から、安全なイベント参加環境を確保のため、引き続き3会場で行う。	決算額 105,247円（報償費）講師謝礼金 79,250円（役務費）傷害保険料 9,500円（使用料及び賃借料）駐車場利用料金 2,900円、会議室利用料金 2,580円（消耗品費） 11,017円	予算額 113,705円（報償費）講師謝礼金 101,825円（役務費）傷害保険料 9,300円（使用料及び賃借料）会議室利用料金 2,580円	3	直前のキャンセルにより参加人数が目標値を下回っているが、申込人数は目標値を上回り、当選人数は目標人数を達成できていることを考慮し、左記の評価としている。
26	ふなばし音楽フェスティバル	文化課	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策② 文化・芸術の本質を尊重しつつ、時代の要請に対応した事業の展開	基本目標Ⅰ 気づき始まる施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	平成6年に船橋市総合体育館の開館記念事業として、市内の音楽団体を中心となって実施した「千人の音楽祭」を核に、平成7年度から、公民館等の市民に身近な場所で良質な音楽を提供する「地域ふれあいコンサート」、アマチュア（社会人）ビッグバンドの祭典である「ビッグバンド船橋」などホール主催事業を取りまとめ、「ふなばし音楽フェスティバル」として開催している。平成26年度からは「ふなばしミュージックストリート」、令和元年度より「まちかど音楽ステージ」も加わった。	「音楽でまちを元気に！」を合言葉に多くの方に音楽を楽しむ機会を提供するとともに、音楽団体・演奏家と市民との交流を促進し、本市の音楽文化の振興に寄与する。また、事業の企画・運営は市民を中心としたボランティアによる実行委員会が担い、市民の力を結集し創意工夫のもと事業展開をしている。	実行委員会	主催	【目標値】来場者数14,000名 【目標値算出方法】コロナ前の来場者数を元に算出 ※令和5年度は千人の音楽祭とミュージックストリートが千葉県150周年記念事業に該当し、900万円の補助金交付を受けて例年より規模を拡大したため。	17,525,300円	①令和6年10月15日～20日…第11回ふなばしミュージックストリート ②令和7年1月19日…30th BAND STAND FUNABASHI ③令和7年1月18日…アフタヌーンコンサート ④令和7年1月25日…宝くじ文化公演吉田兄弟&フレリル スペシャルコラボコンサート ⑤令和7年2月1日～3月2日…地域ふれあいコンサート ⑥令和6年2月2日…第32回音楽のまち・ふなばし千人の音楽祭 ⑦令和6年5月～12月の最終金曜日…まちかど音楽ステージ 令和7年1月16日、3月20日 …ちょっとよりみちライブ 総出演者数 2,119名 82組 総来場者数15,220名	【目標値】来場者数15,000名 【目標値算出方法】前年度来場者数を元に算出	①令和7年10月12日…31th BAND STAND FUNABASHI ②令和7年10月18・19日…第12回ふなばしミュージックストリート ③令和8年1月～3月…地域ふれあいコンサート ④令和年2月8日…第33回音楽のまち・ふなばし千人の音楽祭 ⑤令和7年5月～12月の第2・第4金曜日…まちかど音楽ステージ ⑥令和8年1月～3月…ホール主催事業	決算額 18,481,983円 内市交付金 14,678,600円 内その他（協賛金・参加費等） 3,803,383円	17,276,172円	5	

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度進捗管理シート

1：目標を大幅に下回ってしまった。
2：目標をやや下回ってしまった。
3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。
5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する 基本目標	最も該当する 施策	関連する 基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和6年度目標	令和6年度予算額	令和6年度実績	令和7年度目標	令和7年度実施予定	令和6年度決算額	令和7年度予算額	令和6年度 目標達成度	備考
27	ふなばしミュージックストリート	文化課	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策② 文化・芸術の本質を尊重しつつ、時代の要請に対応した事業の展開	基本目標Ⅰ 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	20年余り続いてきた千人の音楽祭が、小中学生を中心としたプログラムに主軸をシフトしてきた流れの中で、成人団体がより活躍できる新たなイベントを望む声が多く聞かれるようになった。こうした声を背景に、平成26年度にポップスやロック、ワールドミュージックなど、垣根のない幅広い音楽を楽しめる市民参加イベントとして、「音楽でまちを元気に！」をスローガンに、ふなばし音楽フェスティバルの新たな事業として発足した。	「音楽でまちを元気に！」をテーマに、市民が音楽に触れる機会を提供するとともに、街の賑いの創出に貢献する。	実行委員会・市	主催	【目標値】 来場者数10,000名 【目標値算出方法】 前年度来場者数を元に算出	5,215,700円	開催日 ①令和6年10月15日～17日…バックストリートミュージック ②令和6年10月19日・20日…屋外4会場でのライブパフォーマンス ③令和6年10月19日-20日…あおぞらカラオケライブ④令和6年10月20日…弾き語りコンテスト⑤令和6年10月20日…学生バンドコンテスト 総出演団体数 延べ119組 総出演者数 延べ525名 来場者数 8,045名 実行委員32名、当日ボランティア104名（2日間の延べ人数）	【目標値】 来場者数10,000名 【目標値算出方法】 前年度来場者数を元に算出	開催日 ①令和7年10月14日～16日…バックストリートミュージック ②令和7年10月18日・19日…屋外4会場でのライブパフォーマンス ③令和7年10月20日…あおぞらカラオケライブ④令和7年10月19日…弾き語りコンテスト⑤令和7年10月19日…学生バンドコンテスト ⑥船橋市民ステージ…令和7年10月13日	決算額 5,207,496円 内報償費（謝礼等） 210,000円 内需用費（消耗品費等） 184,685円 内役務費（通信運搬費等） 301,770円 内委託料（舞台設営等） 3,835,858円 内使用料及び賃借料（楽屋使用料等） 525,171円 内備品購入費（スピーカー等） 150,000円 内戻入金 12円	4,157,500円	2	
28	まちかど音楽ステージ	文化課	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策② 文化・芸術の本質を尊重しつつ、時代の要請に対応した事業の展開	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策② 文化・芸術活動に参加できる環境の整備	街の一角を市公認の音楽ステージとして開放し、路上等で音楽活動をする者の健全な活動の誘導を図るとともに、音楽文化の向上と地域の活性化に寄与することを目的として平成26年度から開始。	ストリートミュージシャン等の演奏活動の場を確保するとともに、市民に対し身近に音楽に親しんでもらう場を提供する。	市	主催	【目標値】 入場者数1,280名 【目標値算出方法】 令和5年度の総観客者数を開催日8回で割った人数が約80名。 80名×全16回＝1,280名	193,600円	5月から12月にかけての第2・第4金曜日（祝日及び年末年始を除く） 全16回実施予定 午後6時～午後8時30分（30分×5ステージ） 場所：船橋FACEビルと京成船橋駅の2階連絡デッキ（歩行者用通路）の一角 観客数 970名 （1組当たりの平均観客数約13名）	【目標値】 入場者数1,000名 【目標値算出方法】 令和6年度の総観客者数970名の10の位を四捨五入	5月から12月にかけての第2・第4金曜日（祝日及び年末年始を除く） 全16回実施予定 午後6時～午後8時30分（30分×5ステージ）	決算額 193,600円 内委託料（通常ステージ立ち合い業務委託） 193,600円	244,000円	2	
29	郷土資料を活用した事業	西図書館	Ⅱ 学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策② 文化・芸術の本質を尊重しつつ、時代の要請に対応した事業の展開	基本目標Ⅳ 活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	昭和25年から郷土資料の収集を続け、現在多数の貴重資料（古文書・浮世絵等）などを所蔵している。その存在を周知し、郷土の歴史・文化研究への活用を促進するために事業を行っている。	西図書館郷土資料室で所蔵する貴重資料（古文書・浮世絵等）などを活用した事業を行う。	市	主催	【目標値】 事業実施3回以上	市民ギャラリー 使用料：78,190円	・館内ギャラリーコーナー資料展示：1回 ・市民ギャラリー貴重資料展示：1回 ・郷土関連講座：2回	【目標値】 事業実施3回以上	・館内ギャラリーコーナー資料展示：3回 ・市民ギャラリー貴重資料展示：1回 ・郷土関連講座等：1回	市民ギャラリー使用料：76,790円	市民ギャラリー使用料：78,190円	3	
30	音楽のまち・ふなばし千人の音楽祭	文化課	Ⅲ 育みつながる	基本目標Ⅲ 育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	基本目標Ⅲ 育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	平成6年1月30日、市内の音楽団体、小中学校が中心となり、船橋アリーナの落成記念事業として出演者800名、観客2,000名で始まる。翌年から実行委員会を立ち上げ、市内の音楽関係者が創意工夫をし、企画・運営を担っている。市民がより多く参加できるよう毎年企画を検討している。第4回開催から「ふなばし音楽フェスティバル」事業として実施しており、音楽のまち・船橋を代表する事業として、市民と共に作り上げる音楽祭として定着している。	市内の音楽団体が一堂に会し、世代やジャンルを超えた交流をすることで、音楽文化の振興を図る。また、子供たちの未来につながる音楽祭として、事業を通じて音楽のまち・ふなばしにふさわしい音楽環境の整備に寄与していく。	市	主催	来場者満足度 90%	予算額 9,645,000円	開催日：令和7年2月2日(日) 会場：船橋アリーナ 出演者数：1,738人 来場者数：1,570人 来場者満足度：98%	来場者満足度 90%	開催日：令和8年2月8日(日) 会場：船橋アリーナ	決算額 10,528,492円 内報償費 837,150円 内旅費 4,640円 内需用費 1,101,798円 内役務費 393,598円 内委託料 6,968,170円 内使用料及び賃借料 1,223,136円	予算額 9,960,172円 市予算額 1,901,000円※別予算として計上（番組制作委託費（DVD込み）にのみ使用）	4	
31	ハッピーサタデー事業	青少年課	Ⅲ 育みつながる	基本目標Ⅲ 育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	基本目標Ⅲ 育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	完全学校5日制実施に伴い、自宅で過ごす子供たちの活動場所の提供として事業が始まる。	原則毎月第3土曜日を「ふなばしハッピーサタデー」の日として、市内26公民館が地域の団体、町会・自治会、学校と連携を図りながら、子供たちがスポーツや文化活動に親しむことを目的に、様々な事業を実施している。	各公民館	主催	延べ参加者数 75,000人	予算額 3,180,000円 内国庫支出金 853,000円	延べ参加者数 66,462人 開催回数 267回	【目標値】 延べ参加者数 75,000人	市内26公民館 開催回数 300回	決算額 2,760,927円 内国庫支出金 853,000円	予算額 3,560,000円 内国庫支出金 1,187,000円	2	
32	楽器貸与事業	指導課	Ⅲ 育みつながる	基本目標Ⅲ 育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	基本目標Ⅲ 育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	「創意と工夫ある教育」「特色ある学校づくり」の一環として、昭和56年度より開始した。	音楽科の授業を基盤として、一層充実した音楽活動を展開することにより、音楽部員のみならず、全校児童生徒の音楽環境の向上を図る。また、「創意と工夫ある教育」「特色ある学校づくり」の一環として、地域や学校行事の中で、生活に根ざした音楽活動を展開することによって、児童生徒に学校生活の楽しさを味わわせ、情操の涵養を図る。平成30年度の貸与楽器数は75台であり、今までに2058台の貸与ができている。	市	主催	貸与希望校数に対する貸与率 100%	【予算額 9,500,000円】	【指標値実績 70.2%】 新規購入分については、希望した46校のうち33校分を購入し楽器を配置した。その他、令和4年度より、貸与楽器とは別に、学校備品の楽器の修繕を計画的に進め、学校間での配置転換を行った。	貸与希望校数に対する貸与率 100%	楽器の貸与希望校に対して楽器の貸与を行う。	決算額 9,225,205円	【予算額 9,280,000円】	2	

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度進捗管理シート

1：目標を大幅に下回ってしまった。
2：目標をやや下回ってしまった。
3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。
5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する 基本目標	最も該当する 施策	関連する 基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和6年度目標	令和6年度予算額	令和6年度実績	令和7年度目標	令和7年度実施予定	令和6年度決算額	令和7年度予算額	令和6年度 目標達成度	備考
33	造形作品展	指導課	Ⅲ育みつな がる	基本目標Ⅲ育みつ ながる施策① 子 供が文化・芸術に 親しみ、心豊かに 成長するための取 組の充実	基本目標Ⅱ学び楽しむ施 策① あらゆる人々が文 化・芸術活動に参加でき る環境の整備	絵画を中心とした平面作品は、巡回展、夢・ アート展等で発表していたが、立体作品の発 表の場がなかった。中学校美術部会では、独 自に中学校美術科作品展を勤労市民センター 等で開催していた。平成5年2月に船橋市民 ギャラリーがオープンしたのをきっかけに、 小中学校合同の造形作品展となった。平成6 年度、小中学校が統一した展覧会名「船橋市 小・中・養護学校造形作品展－子供たちの 色・形・夢－」として行った。	絵画作品を中心とした展示や発表の場は各種コンクール を中心に極めて多いが、立体的表現の発表の場は少ないこ とから、立体造形の表現力の育成も重視していかなけれ ばならない。そこで、市内小・中・特別支援学校の児童 生徒の立体作品の展示の場を設け、立体作品の教材や題 材についての研究の機会とする。また、児童生徒の造形 意欲や鑑賞力の向上を目指しながら、船橋市の図画工 作・美術教育の一層の充実を図っていく。	実行委員 会	主催	【目標値】 入場者数480 0人【目標値算 出方法】 出品 予定数×3	418,140 円	【開催実績】 会期：2月4日～2月9日 6日間 会場：船橋市民ギャラリー 出品数：1765点 入場者数：5,911人	【目標値】 入場者数4800人 【目標値算出方法】 出品予定数×3	【開催予定】 会期：2月3日～2月8日 会場：船橋市民ギャラリー 出品数：約1600点	決算額 409,120円	418,140円	4	
34	夢・アート 展	指導課	Ⅲ育みつな がる	基本目標Ⅲ育みつ ながる施策① 子 供が文化・芸術に 親しみ、心豊かに 成長するための取 組の充実	基本目標Ⅱ学び楽しむ施 策① あらゆる人々が文 化・芸術活動に参加でき る環境の整備	船橋市内の公立小・中・特別支援学校の児童 生徒が、図工・美術の授業の中で取り組んだ 代表作品（各学校6～8点）を展示する。こ の催しは、昭和40年代の「小・中学校写生 会・巡回展」を発展させたものであり、平成 5年度に現在の名称「夢・アート展」に変更 し、平成11年度まで「船橋市民ギャラリー」 で開催。平成12年度からは、会場を「アン デルセン公園子ども美術館」に移し開催。	児童生徒の夢や願いを多様な平面作品に表すことを通し て、豊かな情操を養うとともに創造的表現力の伸長を図 る。 各校の作品展と夢・アート展を通して、児童生徒の鑑賞 力の向上と指導者の作品評価及び指導法の改善に資す る。	指導課	主催	【目標値】 入場者数180 0人【目標値算 出方法】 出品 予定数×3	232,882 円	【開催実績】 会期：7月24日～8月24日 12日間 会場：アンデルセン公園子ども美術館 出品数：609点 入場者数：3,539人	【目標値】 入場者数1800人 【目標値算出方法】 出品予定数×3	【開催予定】 会期：8月6日～8月24日 会場：アンデルセン公園子ども美術館 出品数：約600点	決算額 231,882円	233,032円	5	
35	小・中学校 音楽教育合 唱委託事業	指導課	Ⅲ育みつな がる	基本目標Ⅲ育みつ ながる施策① 子 供が文化・芸術に 親しみ、心豊かに 成長するための取 組の充実	基本目標Ⅲ育みつなが る施策① 子供が文化・芸 術に親しみ、心豊かに成 長するための取組の充実	小中学校合唱発表会は令和元年度で第33回を 迎える。昭和62年から発表会の中でプロの合 唱団による鑑賞会を実施している。	プロの演奏の鑑賞の機会を設けることにより、その素晴 らしさを感じさせ、情操教育の充実を図る。	市	主催	公演数 【30分公演×2 回】	予算額 【1,265,000 円】	公演数 【30分公演×2回】 プロの合唱の鑑賞の機会を設けることにより、 その素晴らしさを感じさせることができた。	公演数 【30分公演×2回】	公演数 【30分公演×2回】	決算額 1,265,000円	予算額 1,265,000 円	3	
36	学校音楽鑑 賞事業	指導課	Ⅲ育みつな がる	基本目標Ⅲ育みつ ながる施策① 子 供が文化・芸術に 親しみ、心豊かに 成長するための取 組の充実	基本目標Ⅲ育みつなが る施策① 子供が文化・芸 術に親しみ、心豊かに成 長するための取組の充実	昭和58年度から実施している。開催費用の 1/3は県の補助を受け、2/3を市の負担で支 出している。保護者の負担はない。 平成15年より文化課から指導課の事業とな った。	小中学生の情操の涵養を図るため、優れた音楽を鑑賞す る機会を提供し、もって芸術活動への参加の気運を醸成 する。	市	共催	実施校数 【8校】	予算額 4,736,000円	【指標値実績 8公演(8校)】 プロのオーケストラである千葉交響楽団を各学 校に招き演奏していただくことで、音楽の楽し さ、素晴らしさ、楽器の知識・理解を深めるこ とにつなげることができた。	実施校数 【9校】	実施を希望した学校から、9公演の実施を行う。	決算額 4,853,815円	予算額 5,328,000 円	3	
37	小・中・特 別支援学校 書写展覧会	指導課	Ⅲ育みつな がる	基本目標Ⅲ育みつ ながる施策① 子 供が文化・芸術に 親しみ、心豊かに 成長するための取 組の充実	基本目標Ⅲ育みつなが る施策① 子供が文化・芸 術に親しみ、心豊かに成 長するための取組の充実	千教研書写部会・中学校国語部会の協力を得 て、各学校において校内書写展覧会を実施し た上で、各学校の各学年1点（小学校6点、中 学校3点、特別支援学校9点）の書写作品を、 市民ギャラリーにおいて展示している。・小 学校1・2年生は硬筆作品、3年以上、及び 中学校が毛筆の作品、原則として、授業で学 習した教材が望ましいとしている。平成10 年度から18年度まで総合教育センターで 行っていたが、平成19年度より市民ギャ ラリーを会場としている。	国語科書写指導の一環として展覧会を行い、書写に対す る意欲の高揚と技術の向上を図る。	市	主催	来場者数 【2,000人】	予算額 425,365円	【決算額 422,358円】 【指標値実績 2,241名】 開催日：令和7年1月16日（木）～1月21日 （火） 会場：船橋市民ギャラリー 来場者：2,241人 通常開催することができた。	来場者数 【2,000人】	開催日：令和8年1月15日（木）～1月20日 （火） 会場：船橋市民ギャラリー	決算額 422,358円	予算額 435,661円	4	
38	船橋市文化 部活動指導 員派遣事業	指導課	Ⅲ育みつな がる	基本目標Ⅲ育みつ ながる施策① 子 供が文化・芸術に 親しみ、心豊かに 成長するための取 組の充実	基本目標Ⅲ育みつなが る施策① 子供が文化・芸 術に親しみ、心豊かに成 長するための取組の充実	国が平成29年4月に部活動指導員の制度化 を行い、その後、県のモデル事業を経て、各 市町村での実施が可能となった。船橋市で は、平成31年度から運動部活動指導員の派 遣を、令和2年度から文化部活動指導員の派 遣を開始した。	中学校の文化部活動に所属している生徒への専門的な指 導や教職員の働き方改革を行うため、学校教育法施行規 則第78条の2に基づき「中学校におけるスポーツ、文 化科学等に関する教育活動（学校の教育課程として行わ れるものを除く）に係る技術的な指導に従事する」部活 動指導員を学校の職員として配置する。	市	主催	派遣指導員数 【11人】 中学校数の1/3 以上	予算額 4,147,000円	【指標値実績 18名】 ・宮本中学校・2人（管弦楽部・箏曲部） ・海神中学校・2人（華道部・吹奏楽部） ・三山中学校・1人（吹奏楽部） ・若松中学校・1人（吹奏楽部） ・葛飾中学校・3人（管弦楽・合唱・書道） ・御滝中学校・1人（コンピュータ部） ・坪井中学校・1人（茶道部） ・三田中学校・1人（管弦楽部） ・高根中学校・1人（吹奏楽部） ・豊富中学校・1人（美術部） ・古和釜中学校・1人（吹奏楽部） ・法田中・1人（吹奏楽部） ・二宮中・1人（合唱部） ・行田中・1人（演劇部）	派遣指導員数【20 人】 中学校数の1/3以上	配置希望校15に18人配置 ・宮本中学校・2人（管弦楽部・箏曲部） ・海神中学校・1人（華道部） ・三山中学校・1人（吹奏楽部） ・若松中学校・1人（吹奏楽部） ・葛飾中学校・3人（管弦楽・合唱・書道） ・御滝中学校・1人（コンピュータ部） ・坪井中学校・1人（茶道部） ・三田中学校・1人（管弦楽部） ・高根中学校・1人（吹奏楽部） ・豊富中学校・1人（美術部） ・古和釜中学校・1人（吹奏楽部） ・法田中・1人（演劇部） ・前原中学校・1人（ギターマンドリン部） ・行田中学校・1人（管弦楽部） ・七林中学校・1人（管弦楽部）	決算額 5,230,875円	予算額 8,150,000 円	3	
39	文化団体意 見交換会	文化課	Ⅲ育みつな がる	基本目標Ⅲ育みつ ながる施策② 文 化事業への参加を 通じて、市民が地 域や社会とのつな がりを持てる仕組 みの構築	基本目標Ⅱ学び楽しむ施 策① あらゆる人々が文 化・芸術活動に参加でき る環境の整備	平成28年度に「文化振興基本方針」の策定に あたり、市民より意見を聴取するため、「子 供・青少年に対する取組」をテーマに社会教 育関係団体に登録のある文化団体による意見 交換会が開催された。そこで、各団体の情報 の共有や意見交換の場が必要であるとの共通 認識を持ったことから、継続的に文化団体の 意見交換会を実施し、文化振興の体制づくり を推進することとした。	意見交換会を通じて、文化団体間の連携・協力を推進 し、市民が主体となって本市の文化振興を図る一助とす る。	市	主催	開催について検 討	0円	開催見送り	開催内容について検 討	8月上旬実施予定	0円	0円		

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度進捗管理シート

1：目標を大幅に下回ってしまった。
2：目標をやや下回ってしまった。
3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。
5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する基本目標	最も該当する施策	関連する基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和6年度目標	令和6年度予算額	令和6年度実績	令和7年度目標	令和7年度実施予定	令和6年度決算額	令和7年度予算額	令和6年度目標達成度	備考
40	学習成果の活用支援	社会教育課	Ⅲ育みつな がる	基本目標Ⅲ育みつな がる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	基本目標Ⅲ育みつな がる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	自主的に「何かを学びたい、体験したい」と思っている人と、自分の技能や知識をボランティアとして生かしたいと思っている人とを結び付け、生涯学習の機会を増加させるため、平成13年度より開始した。	サークル活動や講座受講などで学んだことを実際に活かしたり、自分がもつ技能や知識を活かしたいと思っている人と、学びたいと思っている人とを結び、学び合いを促進する仕組みの構築について検討していきます。	市	主催	生涯学習サポート事業へのボランティア講師登録数及び実施件数の増加	0円	【登録者数】 43名 【実施件数】 6件	生涯学習サポート事業へのボランティア講師登録数及び実施件数の増加	昨年度に続き、「生涯学習サポート事業の手引き」を作成し、各公民館及び図書館に配布。また、利用促進のためチラシを配布。	0円	0円	2	
41	障害者週間記念事業	障害福祉課	Ⅲ育みつな がる	基本目標Ⅲ育みつな がる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	基本目標Ⅰ気づき始める 施策② 気軽に多様な文化に触れることができる 機会の提供	障害者基本法第9条で定められている障害者週間（12月3日～9日）に合わせた事業。令和6年度はイオンモール船橋（12月6日、7日）と市役所本庁舎1階美術コーナー（1月21日～24日、27日）で開催。	障害や障害のある人への理解と関心を深めてもらうとともに、障害のある当事者自身がイベントに参加することにより社会参加への意欲を高めてもらう。令和6年度の内容については、デファスリート講演会、作品展、合同販売会、介助犬理解啓発ブースを設置した。	船橋市	主催	来場者（船橋市民）の理解促進度（%）100%	予算額 1,362,000円	来場者（船橋市民）の理解促進度（%） 86.8%	来場者（船橋市民）の理解促進度（%） 100%	第1部 日程、場所未定 第2部 日程：1月19日（月）～23日（金） 場所：市役所本庁舎1階美術コーナー	決算額 769,370円	予算額 1,418,000円	3	
42	姉妹都市交流事業	国際交流課	Ⅲ育みつな がる	基本目標Ⅲ育みつな がる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	基本目標Ⅰ気づき始める 施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける 仕組みの構築	昭和61年11月7日に本市にとって最初の姉妹都市提携をアメリカ・ヘイワード市と結び、デンマーク・オーデンセ市(平成元年4月6日)、中国・西安市(平成6年11月2日)とそれぞれ姉妹・友好都市提携を結んできた。これらの提携に基づいてテーマ毎の交流を行っている。	船橋市民を中心に広く国際交流親善についての理解と関心を高め、かつ、積極的に地域に根ざした各種交流事業を行うことを目的とする。	市	主催	【目標値】 参加人数500人	19,421,000円	【指標値実績 集計中】 「船橋&ヘイワード姉妹都市バーチャル交流会」（無料）を実施【34人】	【目標値】 参加人数500人	ヘイワード市高校生海外研修派遣事業、日中友好交流都市中学生卓球交歓大会派遣事業等を実施予定	【決算額 13,283,136 円】 特記事項 R5決算額は、姉妹都市交流関係者へ送付しているグリーティングカード代及び西安市及びオーデンセ市への市代表団派遣に係る費用	4,207,000円		指標値実績を現在集計中のため目標達成度の回答保留
43	市民主体の国際交流支援事業 相互理解促進事業	国際交流課	Ⅲ育みつな がる	基本目標Ⅲ育みつな がる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	基本目標Ⅰ気づき始める 施策② 気軽に多様な文化に触れることができる 機会の提供	市民を中心に草の根で国際交流親善を図るとともに、外国人住民との相互理解が深まるような事業を協会と協力して実施している。	市民主体の国際交流促進と、市内に住む人同士の相互理解を深めるため、インターナショナルフェスティバル、日本語ひろば、国際理解セミナー、文化交流事業などを行う。	船橋市国際交流協会	共催	【目標値】 参加人数900人	3,600,000 円 特記事項 市交付金	【指標値実績 2,811人】 インターナショナルフェスティバルinフナデラス【2,300人】 船橋港親水公園にて実施 料理教室【23人】 バスセミナー【43人】 日本語ひろば【158人】 国際理解セミナー【287人】	【目標値】 参加人数5,000人	インターナショナルフェスティバル、日本語ひろば、国際理解セミナー等を実施予定	【決算額 3,600,000 円】 特記事項 市交付金	3,600,000円 特記事項 市交付金	5	
44	埋蔵文化財普及事業 遺跡・文化財学習の推進	文化課	Ⅳ活かし伝える	基本目標Ⅳ活かし 伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実		平成26年の海老ヶ作貝塚損壊事件の原因の一つとして、遺跡の価値が十分に地域住民に知られていなかったことが考えられる。わかりやすく、気軽に遺跡を知ることができる機会を継続して設けることで、遺跡の価値を地域住民に伝えていく。特に歴史をはじめて学ぶ小学6年生に重点的に周知を図る。	埋蔵文化財（遺跡）は目に触れにくいいため、遺跡の価値をわかりやすく地域住民に発信し、共感を得ることで、遺跡の保護をはかる。	市	直営		2,320千円	普及用遺跡マップを10,000部作成し、市内の中学1年生を中心に配布した。また、取掛西貝塚について児童用/パンフレットを20,000部作成し、市内の小学校3年生を中心に配布した。さらに、市内遺跡3か所に遺跡説明板を設置した。 そのほか、出前講座等への講師派遣を13回行った。		普及用遺跡マップを10,000部作成し、市内の中学1年生を中心に配布する。また、取掛西貝塚についてリーフレットおよびパンフレットを15,000部作成し、市内の小学校6年生を中心にリーフレット、市内の中学1年生を中心にパンフレットを配布する。さらに、市内遺跡3か所に遺跡説明板を設置する。	決算額 2,288,000円 内需要費（印刷製本費）891,000円 内委託料（遺跡説明板設置）1,397,000円	2,301千円	3	
45	文化財普及事業 遺跡・文化財学習の推進	文化課	Ⅳ活かし伝える	基本目標Ⅳ活かし 伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	基本目標Ⅳ活かし伝える 施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	時代とともに失われつつある文化財の保護のため、多くの方々に文化財について理解していただくために、普及活動を行うことが欠かせないため。	指定・登録文化財及びその他の文化財を広く周知し、文化財を将来に継承する一助とすることを目的する。	市	直営		879千円	「板碑・木造毘沙門天立像」の説明板を新しいものに更新したほか、「大仏追善供養」の説明板（表示面のみ）を新しいものに更新した。英語の併記に加え、中国語（簡体字）・韓国語の解説をホームページで閲覧可能とした。 船橋駅周辺を対象としてふなばし歴史・文化クイズラリーを実施した。 そのほか、出前講座等への講師派遣を3回行った。		2件の文化財説明板を更新予定である。また、1件出前講座等への講師派遣を予定している。 飯山満地区でのふなばし歴史・文化クイズラリーを実施予定である。	予算額 595,738円 内需用費（消耗品費）90,838円 内役務費（筆耕翻訳料）67,100円 内委託料（文化財説明板設置）437,800円	948千円	3	
46	郷土資料館主催事業（展示事業・教育普及事業）、吉澤野球博物館資料展示室（企画展/常設展示入れ替え）、21世紀のデジタルプロジェクト	郷土資料館	Ⅳ活かし伝える	基本目標Ⅳ活かし 伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	基本目標Ⅳ活かし伝える 施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	「ふるさと船橋」への思いを育む生涯学習施設として、船橋市に関連する考古・歴史・民俗等の資料についての調査・研究・保存・活用を図り、市民の学習・文化活動の推進及び支援に努めるための展示事業と教育普及事業。	・船橋の歴史や文化について、わかりやすく市民に伝えるときともに、利用者や地域住民の多様なニーズに沿った展示事業・教育普及事業の開催。 ・学芸員が持つ知見やスキルを十分に活用し、展示活動・教育普及活動を実施していく。 ・学校教育機関と連携した事業を実施し、学習内容に即した資料を提供することにより、児童生徒の学習活動を支援する。	市	主催	【目標値】 入場者数30,000人 事業参加者数3,500人 【目標値算出方法】 過去3年の実績値より算出。	1,511,000円 内訳：展示事業1,369,000円 教育普及事業142,000円	【入場者数】 30,571人 【事業参加者数】 1,638人	【目標値】 入場者数33,000人 事業参加者数3,500人 【目標値算出方法】 過去3年の実績値より算出。	企画展「船橋のこどもたち」 吉澤野球資料展示室企画展「東京六大学野球栄光の100年～吉澤野球博物館の宝～」 企画展「くらしの道具展」 企画展「昭和100年 写真で見る船橋の昭和」（仮） 地域史講座 文化講演会 スポーツ講演会 古文書講座 各種ワークショップ など	1,292,514円 内訳： 展示事業1,238,314円 教育普及事業54,200円	1,354,000円 内訳： 展示事業1,212,000円 教育普及事業142,000円	3	

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度進捗管理シート

1：目標を大幅に下回ってしまった。
2：目標をやや下回ってしまった。
3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。
5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する 基本目標	最も該当する 施策	関連する 基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和6年度目標	令和6年度予算額	令和6年度実績	令和7年度目標	令和7年度実施予定	令和6年度決算額	令和7年度予算額	令和6年度 目標達成度	備考
47	飛ノ台史跡公園博物館主催事業（展示事業・教育普及事業）	飛ノ台史跡公園博物館	Ⅳ活かし伝える	基本目標Ⅳ活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	基本目標Ⅰ 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	海神公民館建設のため飛ノ台貝塚の発掘調査を行ったところ、縄文時代早期の貴重資料が多数発掘されたことから、飛ノ台史跡公園博物館建設に変更され、平成12年11月に開館し、開館当初より、市内の遺跡や縄文文化に対する理解等のために教育普及事業を行っている。	①市内の遺跡や縄文文化に対する興味や理解を深めてもらう。 ②「ふるさと船橋」への愛着を育む機会とする。 ③歴史博物館に慣れ、親しみを抱いてもらう。	飛ノ台史跡公園博物館	主催及び共催	①市内の遺跡や縄文文化に対する興味や理解を深めてもらう。 ②「ふるさと船橋」への愛着を育む機会とする。 ③歴史博物館に慣れ、親しみを抱いてもらう。	【展示事業】2,294,000円 【教育普及事業】714,000円	【展示事業】常設展屋内、屋外展示305日 企画展示4事業 延べ開催日数182日 利用者数14,135人 【教育普及事業】ワークショップ、縄文大学等10事業 延べ参加者数11,955人 その他の事業等含め、総利用者数26,927人	①市内の遺跡や縄文文化に対する興味や理解を深めてもらう。 ②「ふるさと船橋」への愛着を育む機会とする。 ③歴史博物館に慣れ、親しみを抱いてもらう。	【展示事業】常設展屋内、屋外展示 企画展示2事業 【教育普及事業】ワークショップ、縄文大学ほか その他博学連携事業等	【展示事業】2,081,641円 【教育普及事業】603,734円	【展示事業】2,503,000円 【教育普及事業】840,000円	3	
48	ふなばし市民力発見サイト	市民協働課	Ⅳ活かし伝える	基本目標Ⅳ活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	基本目標Ⅰ 気づき始める施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	様々な知識、経験や技能を持つ個人の情報を収集、発信することを目的に平成27年3月に開設。同年10月に、それまで市民活動団体の情報を収集・蓄積していた「ふなばし市民活動情報ネット」を統合し、現在は個人及び団体の情報が掲載されている。	市内において、様々な知識、経験、技能等を持つ、若しくは公益的な活動を行う個人又は団体に関する情報を、市が収集・蓄積し、インターネットを介して提供することにより、市民力の活性化を目指す。発見サイトに登録すると、登録者（団体）にIDとパスワードが付与され、団体の概要やイベントの告知、会員の募集等の記事の掲載や、団体のホームページへのリンクを貼ることにより、サイト内で情報発信ができる。	市	主催	利用登録数 合計500 ※今年度サイトの情報の充実を目的に会員登録の抹消条件を追加しました。その影響で、大幅に減少しています。	1,584,000円	利用登録数 団体 463団体 個人 7人	利用登録数 合計500		1,603,800円	1,584,000円	2	
49	船橋市デジタルミュージアム資料のデジタル化及び公開事業	文化課	Ⅳ活かし伝える	基本目標Ⅳ活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	基本目標Ⅳ活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	平成28年度公益財団法人図書館振興財団提案型助成事業の採択を受け、西図書館が所蔵する貴重資料の保存と利用の両立、及び文化課が所管する美術品の一部をデジタル化しインターネット上で公開するために、「船橋市デジタルミュージアム」を開設。その後、郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館の資料を追加、拡充を進め、令和2年4月にリニューアル公開した。令和4年度より本事業の取りまとめを文化課が引継ぐ。	図書館・文化課・博物館が所蔵する資料や美術品等をデジタルアーカイブ化し、インターネット上で公開する「船橋市デジタルミュージアム」を管理する。また、市民の生涯学習活動など幅広い用途で活用されるよう、令和4年度以降、デジタルミュージアムに参加する各施設において資料情報の充実を図っていく。	市	主催	【目標値】アクセス数(1ヶ月平均値)38,000アクセス	2,001,450円	【指標値実績】42,244アクセス（R6.4～R7.3）	【目標値】アクセス数(1ヶ月平均値)42,000アクセス		決算額 1,951,950円 内一般委託料(拡充作業委託)895,950円、 使用料及び賃借料（サーバ利用料）1,056,000円	1,056,000円	2	
50	取掛西貝塚保存事業	文化課	Ⅳ活かし伝える	基本目標Ⅳ活かし伝える施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	基本目標Ⅳ活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	平成26年に起こった海老ヶ作貝塚損壊事件を受け、重要な遺跡を後世に伝えるため、開発等に先行して遺跡を保護する施策に積極的に取り組む。	重要な遺跡を後世へ伝えるため、調査・分析・研究を行って遺跡の価値を明らかにし、市・県・国指定史跡化を積極的に図り、開発等に先行して保護する。	市	直営		52,321千円	史跡指定地内の土地について、飯山満町1丁目の2筆を地権者より買い上げ、管理地と示すためにバリケード柵の設置を行った。その他、史跡指定地内の市有地における除草や古びた木柵を鉄柵へ更新するなど史跡の維持管理を行った。		史跡指定地内の土地を新たに13筆買い上げし、敷地内の建築物の移転補償を実施する。また、バリケード設置などの整備を行う。また、既に市有地となっている範囲の除草を定期的に実施するなど史跡の維持管理を行う予定である。	決算額 51,534,847円 内報償費 243,660円 内需用費 705,487円 内役務費 428,060円 内委託料 2,907,190円 内公有財産購入費 47,250,450円	201,619千円	3	
51	埋蔵文化財保護事業	文化課	Ⅳ活かし伝える	基本目標Ⅳ活かし伝える施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	基本目標Ⅳ活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	文化財保護法に基づき、遺跡内で計画された開発等工事と埋蔵文化財保護の調整を行い、適切に埋蔵文化財を保護する。	埋蔵文化財の保護のため、遺跡で開発等工事を計画している事業者と、可能な限り遺跡を現状で保存するため、遺跡が破壊される範囲が最小限になるよう、事前に調整・協議を行う。やむを得ず遺跡が破壊される場合は、発掘調査を実施し、整理・分析を行って報告書を刊行し、記録を後世に伝える。	市	直営		190,125千円	開発等に伴う発掘調査（本調査）を11件、開発等に伴う発掘調査（確認調査）を21件、発掘調査報告書刊行を7冊行った。		埋蔵文化財の保護のため、遺跡で開発等工事を計画している事業者と、可能な限り遺跡を現状で保存するため、遺跡が破壊される範囲が最小限になるよう、事前に調整・協議を行う。やむを得ず遺跡が破壊される場合は、発掘調査を実施し、整理・分析を行って報告書を刊行し、記録を後世に伝える。	決算額 130,709,851円 内報償費（調査指導謝礼など）68,600円 内需用費（調査・整理用消耗機材など）5,379,323円 内役務費（通信運搬費など）1,096,458円 内委託料（測量委託など）112,797,520円 内使用料及び賃借料（重機・施設借上料など）11,367,950円	192,552千円	3	
52	文化財調査事業	文化課	Ⅳ活かし伝える	基本目標Ⅳ活かし伝える施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	基本目標Ⅳ活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	文化財としての価値等を確認するとともに、将来に伝えていくことを目的に記録保存を行う必要がある。	指定・未指定文化財を調査し、その内容や歴史を記録する。保存が困難なものについては、記録保存を行い、後世に資料を残す。保存が可能なものについては、指定等を含む保護処置について文化財審議会に諮るために、調査を実施し、資料を作成する。	市	直営		334千円	船橋市文化財審議会を2回開催した。神楽などの指定文化財のほか、未指定文化財の調査を5件（古和釜のマアチ、山野町浅間神社富士講、印内八坂神社例祭、本町八坂神社例大祭、八剱神社例大祭）を行った。		指定・未指定文化財を調査し、その内容や歴史を記録する。また、保存が困難なものについては、記録保存を行い、後世に資料を残す。保存が可能なものについては、指定等を含む保護処置について文化財審議会に諮るために、調査を実施し、資料を作成する。	決算額 147,000円 内報酬（文化財審議会委員報酬）137,200円 内報償費（文化財調査指導謝礼）9,800円	334千円	3	
53	文化財保護事業	文化課	Ⅳ活かし伝える	基本目標Ⅳ活かし伝える施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	基本目標Ⅳ活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	指定・登録文化財の伝承や維持に、多額の費用がかかることから、伝承者や所有者の要望により、維持管理や修繕などの費用の一部補助を行う。	文化財を保護し、将来へ残すことを目的とし、指定・登録文化財及びその他の文化財の状況、実態調査結果に基づき、保護についての指導等を行う。また、指定・登録文化財へ管理伝承事業、修理等についての補助金を交付する。	市	直営		2,040千円	下野牧二和野馬土手の除草を行った。「船橋市文化財保護事業補助金交付要綱」に基づき、20件の指定・登録文化財の所有者等に管理伝承費の補助（1件40,000円）を行った。また、「飯山満町大宮神社の神楽」と「梯子乗りと木遣り歌」に修理等費用の補助を行った。		下野牧二和野馬土手の除草を行う。また、市内の指定・登録文化財の管理伝承費や緊急修繕等に対し、補助を行っていく。	決算額 1,960,000円 内委託料（下野牧二和野馬土手除草業務）660,000円 内負担金補助及び交付金（文化財修理等事業補助金）1,300,000円	2,055千円	3	

第2次船橋市文化振興基本方針 令和7年度進捗管理シート

1：目標を大幅に下回ってしまった。
2：目標をやや下回ってしまった。
3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。
5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する 基本目標	最も該当する 施策	関連する 基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和6年度目標	令和6年度予算額	令和6年度実績	令和7年度目標	令和7年度実施予定	令和6年度決算額	令和7年度予算額	令和6年度 目標達成度	備考
54	アーティスト・イン・スクール	文化課	アートでつながるまち	アートでつながるまち	アートでつながるまち	市内での若手アーティスト活動の場の創出、アートを通じた市民の施設利用の促進、展覧会場近隣施設の連携、将来のアーティスト育成を目指し、令和6年度より開催。	アーティストが講師となり、小中学校1校1学年で授業を行う。授業では、鑑賞、作品制作、展覧会見学会を実施し、成果物は市内施設にて展示を行う。展覧会期中には関連イベントとして一般を対象にした講座やアーティストトークを実施。また、展示会場周辺の商業施設に作家作品を展示する。	市	直営		582,520円	令和6年度船橋市アーティスト・イン・スクール作品展「HOME－思い出と未来が集う場所－」令和7年2月23日（日）～3月15日（土）アンケート回収：77枚（展覧会：57枚／イベント：20枚） 参考：会期中の公民館利用者数 約3000名	【目標値】 アンケート回収数 60枚 【目標値算出方法】 過去の出張美術展の実績から（会期・内容を踏まえて）	令和7年度船橋市アーティスト・イン・スクール授業・作品展・関連イベント	516,837円	730,286円	4	